# 答え｜国語　漢字の成り立ち①

**1**
① イ
② ア
③ エ
④ ウ

**2**
① ア　② イ
③ イ　④ ア
⑤ ア　⑥ ア

**3**
休

## まちがった問題を確認してみよう！

**1** 次の漢字はどうやってできましたか。それぞれに当てはまる説明を後から選んで記号で答えましょう。

① → 山 → 山 □
② ・一 → 丄 → 上 □
③ 鳥 と 口 → 鳴 □
④ 金 と 同 → 銅 □

ア　目に見えない事がらを、印や記号で表した。
イ　目に見える形がある物を、具体的にかいた。
ウ　音を表す部分と意味を表す部分をくっつけた。
エ　漢字の意味を組み合わせた。

**2** 次の漢字は、「ア・目に見える形がある物を、具体的にかいたもの」、「イ・音を表す部分と意味を表す部分をくっつけたもの」のどちらですか。記号で答えましょう。

① 門 □　② 理 □
③ 球 □　④ 火 □
⑤ 木 □　⑥ 田 □

**3** 次の漢字のうち、漢字の意味を組み合わせてできたものを一つさがして○で囲みましょう。

手　元　休　兄

# 漢字の成り立ち ②

**1**

① 反
② 長
③ 青
④ 同
⑤ 可
⑥ 方
⑦ 京
⑧ 化

**2** 明　意　林　名　森

**3** 事実　天気

## まちがった問題を確認してみよう！

**1** 次の漢字の、音を表している部分をさがして書きましょう。

例 持 → 寺

① 板　② 張　③ 清　④ 銅　⑤ 河　⑥ 放　⑦ 景　⑧ 花

**2** 漢字の意味を組み合わせてできたものを次から五つ選んで書きましょう。

戸・明・耳・子
意・林・星・手
川・名・森・虫

**3** 次のうち、目に見える形をもとにできた漢字をふくまない言葉を二つさがして、〇で囲みましょう。

兄弟・事実・天気・友人

# 漢文に親しもう②

(1) エ

(2) イ

(3) イ

## まちがった問題を確認してみよう！

**1** 次の「論語」の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

故きを温めて新しきを知る、以て師となるべし。

昔の古いことを学んで、そこから新しい考え方を見つける。そういう人こそが、人の師となることができるだろう。

学びて時に之を習ふ、亦た説ばしからずや。
朋あり、遠方より来たる、亦た楽しからずや。

学んでは、機会があるごとに復習をする、なんと喜ばしいことではないか。友達が、遠くから訪ねて来る、[　　　　]。

(1) 「故きを温めて新しきを知る」から、どんな言葉ができたでしょうか。合うものの記号を◯で囲みましょう。

ア 大器晩成　イ 石の上にも三年
ウ 急がば回れ　エ 温故知新

(2) 「学びて時に之を習ふ、亦た説ばしからずや。朋あり、遠方より来たる、亦た楽しからずや。」を声に出して読むと、どんな感じがするでしょうか。合うものの記号を◯で囲みましょう。

ア 五音・七音のくり返しのリズムを感じる
イ 似た言葉のくり返しや語感からリズムを感じる
ウ 言葉が長く規則がないのでリズムは感じられない

(3) 「亦た楽しからずや」は、どういう意味でしょうか。合うものの記号を◯で囲みましょう。

ア まったく楽しくはない
イ なんと楽しいことではないか
ウ どうして楽しいのだろうか

# 答え｜国語　敬語①

**1**
①－ていねい語
②－尊敬語
③－けんじょう語

**2**
① いらっしゃる
② ごらんになる

**3**
① ア
② イ

**4**
① イ
② イ
③ ア

## まちがった問題を確認してみよう！

**1** 敬語について説明した文と、敬語の種類とを正しく――で結びましょう。

① 相手に対して敬意を表すときに「です」「ます」「ございます」などのていねいな言葉を使う。 ・　　・尊敬語

② 相手や話題になっている人をうやまう気持ちを表すときに使う。 ・　　・ていねい語

③ 自分や身内の者の動作をけんそんして言うことでその動作を受ける人への敬意を表す。 ・　　・けんじょう語

**2** 次の言葉の尊敬語として正しい方を○で囲みましょう。

① 来る　（来ます・いらっしゃる）

② 見る　（ごらんになる・いただく）

**3** 次の□の尊敬語は、ア・イのどちらに対して敬意を表していますか。記号で答えましょう。

① その人が(ア) 兄に(イ) [おっしゃいました]。 □

② 父に(ア) みなさんが(イ) [お会いになる]。 □

**4** 次の□のけんじょう語は、ア、イ、のどちらに対して敬意を表していますか。記号で答えましょう。

① 母が(ア) そちらに(イ) [まいります]。 □

② 父が(ア) 先生を(イ) [おたずねします]。 □

③ 先生を(ア) [お送りした] のは 兄です(イ)。 □

# 敬語（けいご）②

**1** お乗りになる・いらっしゃる・おっしゃる・卒業される・ごらんになる

**2**
① ごらんになって
② お帰り
③ 書き
④ お決めになり
⑤ お出しする
⑥ いただいた

## まちがった問題（もんだい）を確認（かくにん）してみよう！

**1** □の中の言葉のうち、尊敬語（そんけいご）をすべて選んで、□に書きましょう。

歩く・いただく・たずねる・お乗りになる
来ます・歩きます・いらっしゃる・おっしゃる
卒業される・ごらんになる・お持ちする

□

**2** 次の文の中で使うものとして正しい方を○で囲みましょう。

① ゆっくりと（ごらんになって／拝見（はいけん）して）ください。
② みなさん気をつけて（お帰り／おうかがい）ください。
③ その日私は手紙を（お書きになり／書き）ました。
④ お客様、どの絵に（お決めになり／お決めし）ましたか。
⑤ 父が先生に手紙を（お出しする／お出しになる）。
⑥ わたしは先生から賞を（さし上げた／いただいた）。

# 書いてみよう ①ー1

**1**

(1) 例）ぼくたちのチームがゆう勝するなんて、**まるで**夢(ゆめ)のようだ。

(2) 例）かれは**けっして**約束を破(やぶ)らない人だ。

(3) 例）明日は**おそらく**雨だろう。

**2**

例）ぼくの兄は、家から自転車で、広い公園に行く。

**3**

(1) 例）毎日練習をしたのに、ゆう勝できなかった。

(2) 例）毎日練習をしたので、速く走れるようになった。

## まちがった問題(もんだい)を確認(かくにん)してみよう！

**1** 次の言葉を使って短い文を作りましょう。

(1) まるで

(2) けっして

(3) おそらく

**2** 次の□の中の言葉をすべて使って、また、「兄」を主語に、「行く」を述語(じゅつご)にして文を作りましょう。

ぼく　兄　自転車　広い　家　公園　行く

**3** 次の二つの文を、例のように一つの文にしましょう。

例
・熱がでた。
・学校を休んだ。

熱がでたので、学校を休んだ

(1)
・毎日練習をした。
・ゆう勝できなかった。

(2)
・毎日練習をした。
・速く走れるようになった。

# 書いてみよう①―2

**1**

(1) 例）**たぶん**時間通りに駅にとう着できるだろう。

(2) 例）**もし**雨がふったら、遠足は中止になります。

(3) 例）**たとえ**雪がふっても、マラソン大会を行います。

**2**

例）わたしの妹は、学校の図書室で本を読む。

**3**

(1) 例）かぜが治ったので、遊びに行った。

(2) 例）計画を立てたが、実行できなかった。

(3) 例）雨がふったので、試合が中止になった。

## まちがった問題を確認してみよう！

**1** 次の言葉を使って短い文を作りましょう。

(1) たぶん

(2) もし

(3) たとえ

**2** 次の□の中の言葉をすべて使って、また、「妹」を主語に、「読む」を述語にして文を作りましょう。

妹　わたし　本　図書室　学校　読む

**3** 次の二つの文を、一つの文にしましょう。

(1)
・かぜが治った。
・遊びに行った。

(2)
・計画を立てた。
・実行できなかった。

(3)
・雨がふった。
・試合が中止になった。

# 短歌に親しもう①

(1) 七・七

(2) 天の原／ふりさけ見れば／春日なる／三笠の山に／出でし月かも

(3) 嵐ふく／三室の山の／もみぢ葉は／竜田の川の／錦なりけり

(4) ひさかたの／光のどけき／春の日に／しづ心なく／花の散るらむ

(5) ほととぎす／鳴きつるかたを／ながむれば／ただ有明の／月ぞ残れる

## まちがった問題を確認してみよう！

■次の説明に合うほうの言葉を、◯でかこみましょう。

(1) 短歌は、五・七・五・（七・七／六・八）の三十一音からできている短い詩です。

■短歌を五・七・五・七・七の音数で分けます。例のように、分かれめに「／」を書きましょう。

例 秋来ぬと／目にはさやかに／見えねども／風の音にぞ／おどろかれぬる（藤原敏行）

(2) 天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも（安倍仲麿）

(3) 嵐ふく三室の山のもみぢ葉は竜田の川の錦なりけり（能因法師）

(4) ひさかたの光のどけき春の日にしづ心なく花の散るらむ（紀友則）

(5) ほととぎす鳴きつるかたをながむれば ただ有明の月ぞ残れる（藤原実定）

答え | 国語

# 同じ読み方の熟語 ①

**1**
① 同―動
② 鉱―功
③ 証―賞
④ 管―館
⑤ 退―待

**2**
① 周囲　② 様子　③ 最古

**3**
① 新しい気体の発見が期待される。
② 自分の半生を反省して文に書く。
③ 校外に出て、交通と公害の関係を調査する。

## まちがった問題を確認してみよう！

**1** 次の漢字のうち、同じ音を持つものどうしを線で結びましょう。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---|---|---|---|---|
| 同・ | 鉱・ | 証・ | 管・ | 退・ |
| ・館 | ・待 | ・功 | ・動 | ・賞 |

**2** 次の読みの熟語ではないものを下の□からそれぞれ一つずつさがして、○で囲みましょう。

① シュウカン　習慣・週刊・周囲
② ヨウイ　容易・様子・用意
③ サイコウ　最古・再考・最高

**3** 次の文の熟語のうち、正しい方を○で囲みましょう。

① 新しい{期待／気体}の発見が{期待／気体}される。
② 自分の{半生／反省}を{半生／反省}して文に書く。
③ {校外／公害}に出て、交通と{校外／公害}の関係を調査する。

# 答え｜国語　同じ読み方の熟語②

**1**

① しょうめい
② たいき
③ しじ
④ こてい
⑤ かんせん
⑥ ひょうじょう

**2**

① 先頭
② 加工
③ 天気
④ 正確

## まちがった問題を確認してみよう！

**1** 次の漢字の共通する読み方を□に書きましょう。

① ・照明をつける。 ・無実を証明する。 □
② ・教室で待機する。 ・大器だとほめられる。 □
③ ・先生の指示を守る。 ・支持された意見。 □
④ ・ひもで固定する。 ・湖底にしずむ宝。 □
⑤ ・幹線道路を通る。 ・試合を観戦する。 □
⑥ ・明るい表情になる。 ・氷上をすべる。 □

**2** 右がわの漢字と同じ読みの熟語が左がわの□に入ります。正しい漢字を下の□に書きましょう。

① ・銭湯 ・ゴールを□でかけぬける。 □
② ・火口 ・石油を□する。 □
③ ・転記 ・明日の□を気にする。 □
④ ・性格 ・答えを□に書く。 □